

灯明堂

【簡易バージョン】

灯明堂は、天然痘に侵された八戸藩主の回復および海上安全を祈願するために 1730 年に建立され、付近を通過する船を導く灯台としての役割を果たしました。QR コードをスキャンしてより詳しい情報をご覧ください。

【詳細バージョン】

灯明堂は、天然痘に侵された八戸藩主の回復および海上安全を祈願するために 1730 年に建立されました。「神聖な灯のお堂」という意味の名前を持つこの建物は、八戸港湾および小舟渡沿岸を通過する船を導く灯台としての役割を果たしました。一般的な灯台の先駆けとされる灯明堂の灯りは、菜種油を燃料にして灯されており、その費用は八戸藩が負担していました。

標高約 250 メートルに鎮座する灯明堂の灯りは、約 4 キロ離れた沿岸からでも見ることができると言われています。その眺めは今ではうっそうと茂る森に遮られていますが、木々に囲まれた灯明堂までの道のりは気持ちのよいハイキングコースです。